



Canon

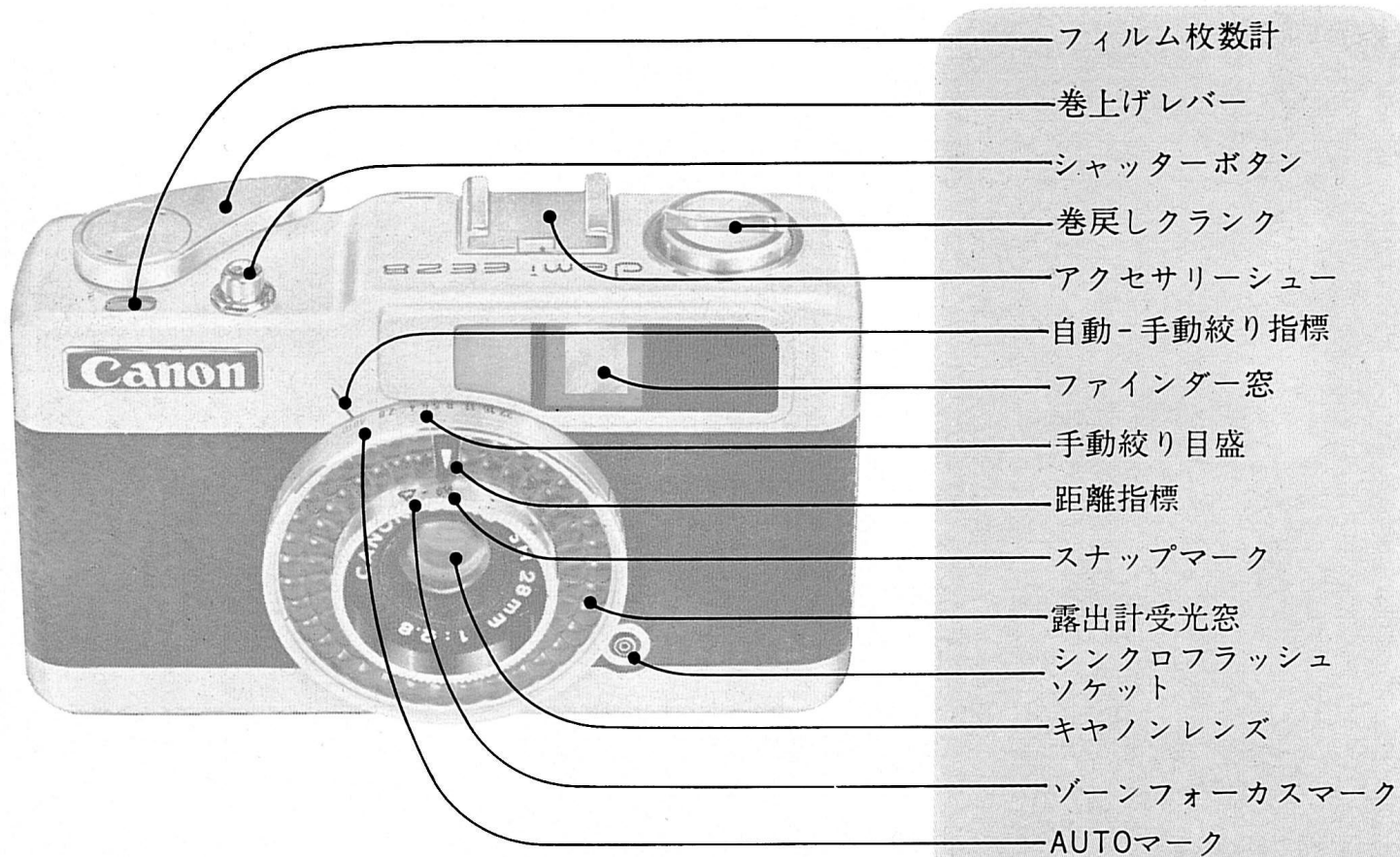
天三

EE28

使用說明書

キヤノンデミ EE 28 をお買い上げいただきありがとうございます。キヤノンデミ EE 28 は、初めてカメラを手にする方にも、やさしく、完全な写真がうつせるよう、新たに設計されたコンパクトな EE カメラです。



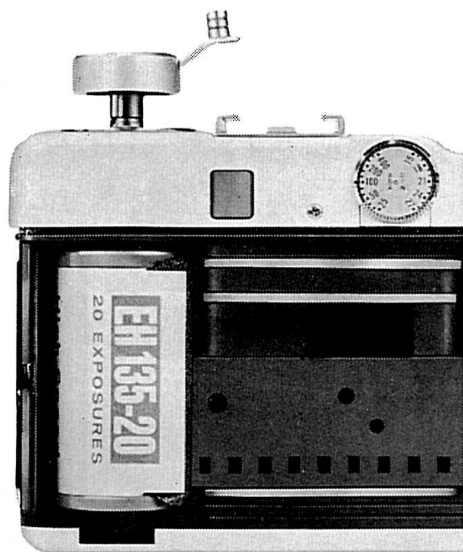


キヤノン デミ EE 28 の撮影手順

1

フィルムをつめて

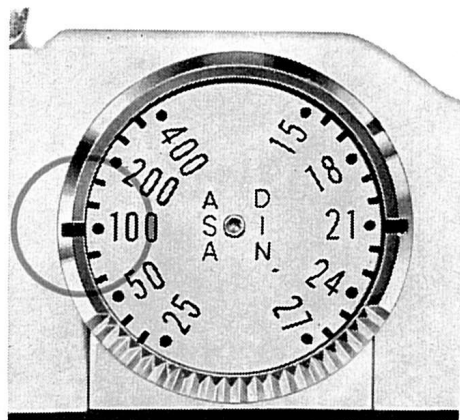
本文 8～9 ページ参照



2

フィルム感度を合わせる

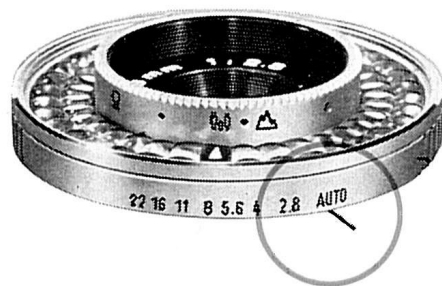
本文 10 ページ参照



3

オートマークを合わせ

本文 11 ページ参照



4

ピントを調節する

本文 11 ページ参照

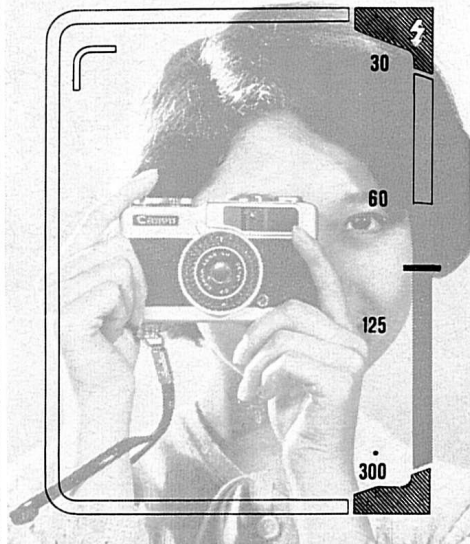


5

ファインダーをのぞく

- i) 露出をたしかめ
- ii) 構図をきめる

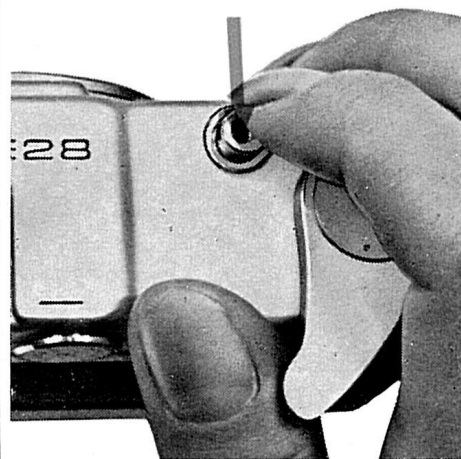
本文 12~15 ページ参照



6

シャッターボタンを押す

本文 16 ページ参照



デミ EE 28 の特長

正確なプログラム EE

1 シャッター、露出計、絞りが完全連動するプログラム EE です。明るさにふさわしい絞りとシャッターの組合せがあらかじめきめられていて、被写体にカメラを向ければ、正確なセレン露出計が、自動的にぴったりの露出を選びます。

やさしく撮れるスナップマーク

2 距離マークをスナップマークに合わせさえすれば、戸外のスナップ撮影では、どんな被写体にもきちんとピントの合った写真が得られます。被写体ごとにピントを合せなおす必要はまったくなく、文字どおりシャッターボタンを押すだけです。

シャープなレンズ

3 レンズは 3群 5枚構成、35ミリ判と同質の引伸し写真ができるよう、とくに厳しく設計されたレンズです。焦点調節もレンズ系全体が繰出されるヘリコイドフォーカス式、つねにシャープな写真が撮れる性能は、すでにキャノンデミで定評を得ています。

最も軽く携帯に便利

4 290g という軽さ。ハンドバッグの片隅におさまるコンパクトなサイズ。遠いご旅行にも、荷物の多いときも、ごく気軽にお持ちいただけます。

性能

キヤノンデミ EE28 の主要性能

型式：35 mm フィルム使用の 24×18 mm 判
ハーフサイズプログラム EE カメラ

レンズ：キヤノンレンズ SH 28 mm F 2.8
3 群 5 枚構成。画角 55°

EE 機構：メーター・シャッター・絞りの完全連
動プログラム EE。手動絞り可能，手動絞り
では露出計回路は切れ，シャッタースピー
ド 1/30 秒，絞り F 2.8 4 5.6 8 11 16
22 が使用できる。

EE 作動範囲：ASA 100 のとき EV 8 (F 2.8
1/30 秒) ~ EV 17.5 (F 25. 1/300 秒) の
全域に連動

露出計：セレン光電池を使用した高精度ガルバ
ノメーター

フィルム感度：ASA 25~400

ファインダー：マークファインダー 倍率 0.42
倍。視野内にスナップマーク，シャッター
秒時，露出警告マーク，パララックス補正
マークを表示

シンクロ接点：X 接点 JIS B 型ソケット

巻上げレバー：巻上げ角 132° 小刻み巻上げ
可能

フィルム枚数計：自動復帰順算式

大きさ・重量：116×69×39 mm/290 g

フィルムをつめる

フィルムは市販のパトローネ入り 35 mm フィルムを使用します。ハーフサイズですから、フィルム外箱に表示された枚数の 2 倍のコマ数が撮影できます。

1. 巻戻しクランクを引起し、上方へ引上げます。さらに巻戻しノブ全体を上へ引上げると、裏蓋が開きます。

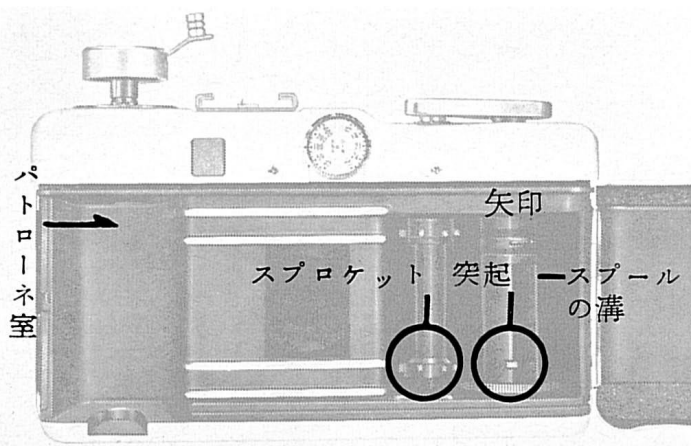
*フィルム枚数計は、裏蓋を開くと、自動的にスタート位置 (S) に復帰します。



2. 巻戻しノブを引上げたまま、パトローネ室内にフィルムを入れたのち、ノブを元の位置に押し下げます。

*その際フォークがパトローネの軸にまちがいなく納まるようご注意ください。納まらないときはノブを回転させながら押し下げます。

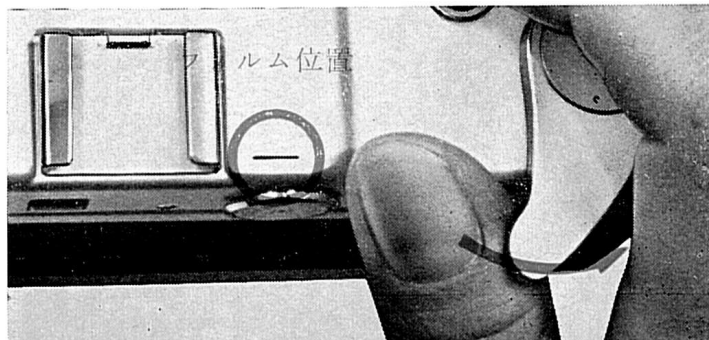
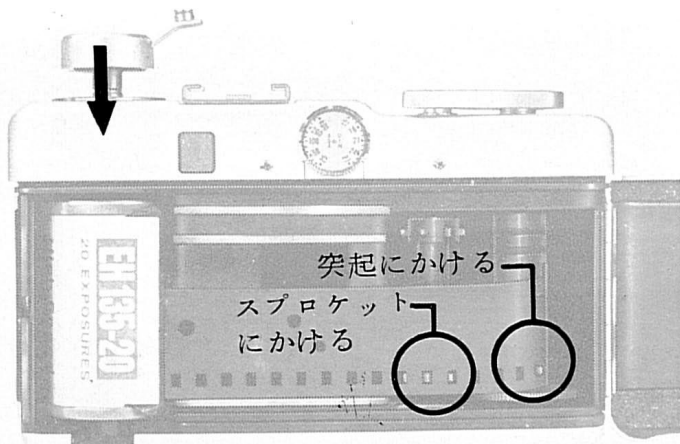
3. スプールのつばを矢印方向に回して溝を出し、そこにフィルムのリーダー部先端を十分にさし込み、同時に溝ぎわの突起にフィルムの孔をかけます。



4. レバーを巻上げ、フィルムをスプール軸に巻きつけてフィルムのたるみを取り、さらにフィルムの孔がスプロケットに正しくかかっているかどうか、確認したのち、
5. 裏蓋を閉じます。裏蓋は押すだけで完全に閉じられます。
6. レバーを巻上げて、シャッターを切る操作を数回行ない、フィルム枚数計の指標に0のつぎの目盛(1)が来たら1枚目の撮影準備が完了します。

*巻上げレバーを止まるまで回すと、フィルムが1コマ分送られ撮影の準備ができ、同時にフィルム枚数計も1目盛進みます。シャッターボタンを押すとつぎの巻上げができます。

*レバー巻上げは小刻みにくり返すこともできます
*レバーを巻上げたとき、巻戻しクラックが同時に回転すれば正常です。ただし、パトローネ内でフィルムがゆるんでいると、巻戻しクラックが回らないことがありますから、あらかじめクラックを引起して、時計方向へ2~3回まわしてたるみをとっておいてください。フィルムが正しく装填されていないときは、もう1度つめ直してください。



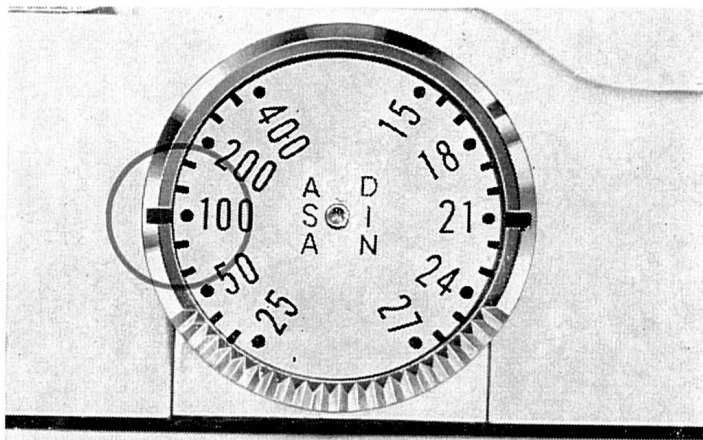
フィルム感度のセット

カメラ背面のフィルム感度セットリングを回して、使用フィルム感度の数値に指標を合わせます。

左側の数値は ASA、右側の数値は DIN で
いずれか一方の数値を合わせれば、かならず
もう一方の数値が対応してセットされます。

*感度数値の中間の目盛は、それぞれつぎの数値をあらわしています。

ASA 25	32 40	64 80	125 160	250 320	400
DIN 15	18	21	24	27	
	16 17	19 20	22 23	25 26	



EE 撮影

1. AUTO マークに合わせる

絞りリングを写真の矢印方向へいっぱいに戻してAUTO マークを自動・手動絞り指標に合わせます。




AUTO マークに合わせないと、EE 機構がはたらきません。

2. ピントを合わせます

撮影するには被写体までの距離によってレンズの調節をしなければなりません。これをピント合せといいます。デミ EE28 のピント合せは、簡単で正確なゾーンフォーカス式です。



*ピント調節リング上にある三つの絵から被写体距離に適したものを選び、リングを回して距離指標に合わせます。

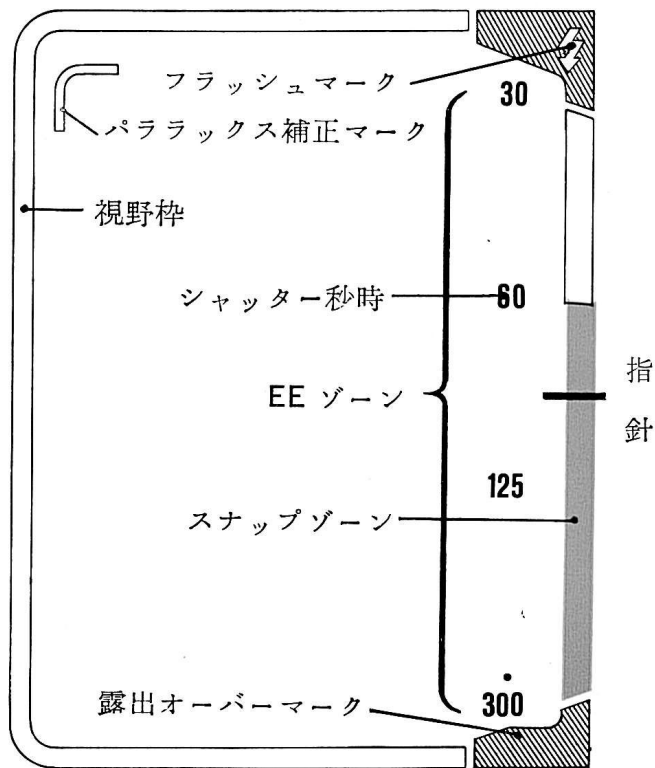
- | | | |
|---|------------------|---------|
|  | 遠距離マーク | 10 m 以上 |
|  | 中距離マーク (スナップマーク) | 約 3 m |
|  | 近距離マーク | 約 1 m |

マーク中間の点が示す距離は、カメラ裏蓋の距離表をごらんください。

*スナップマーク (二人) は、戸外のスナップ撮影用のもので、これを利用すると、とくに簡単に撮影できるしくみになっています (14 ページ参照)



3. ファインダーをのぞいてください
 ファインダー内のマークによって、(i) 露出
 の状態 (ii) 視野を確認できます。

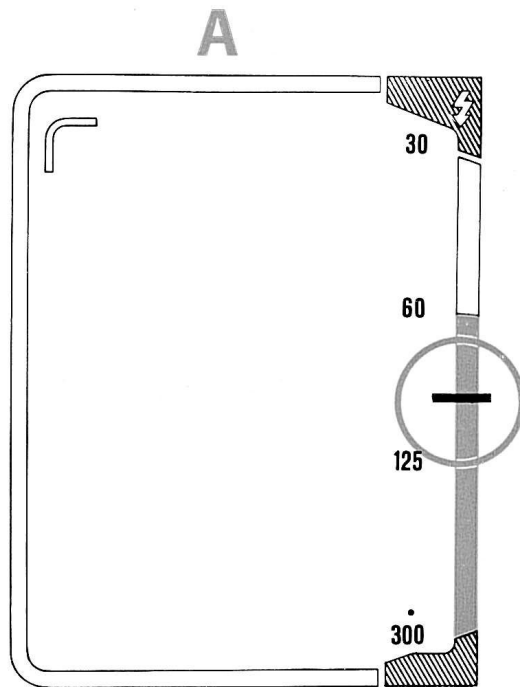


露出の決定

A 指針がEEゾーンにあるとき

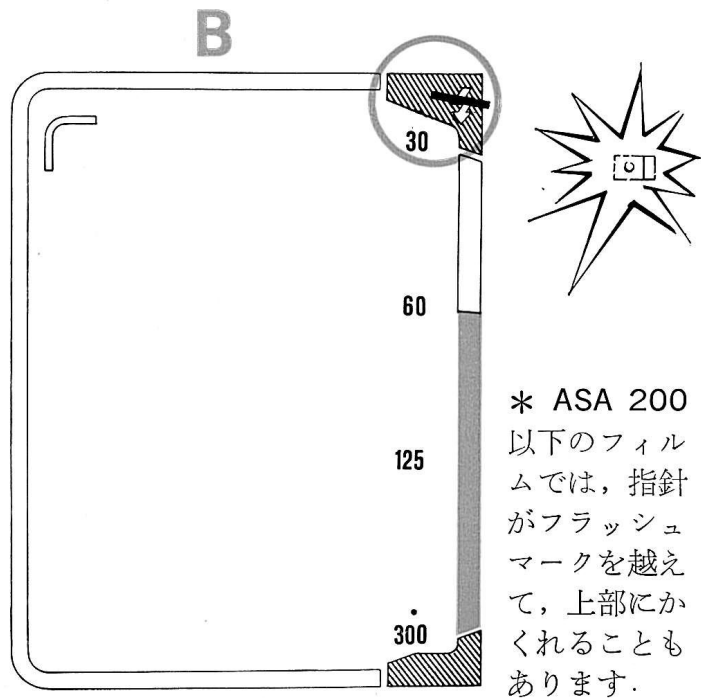


EE 露出 OK, 構図をきめてシャッターボタ
 ンを押してください。



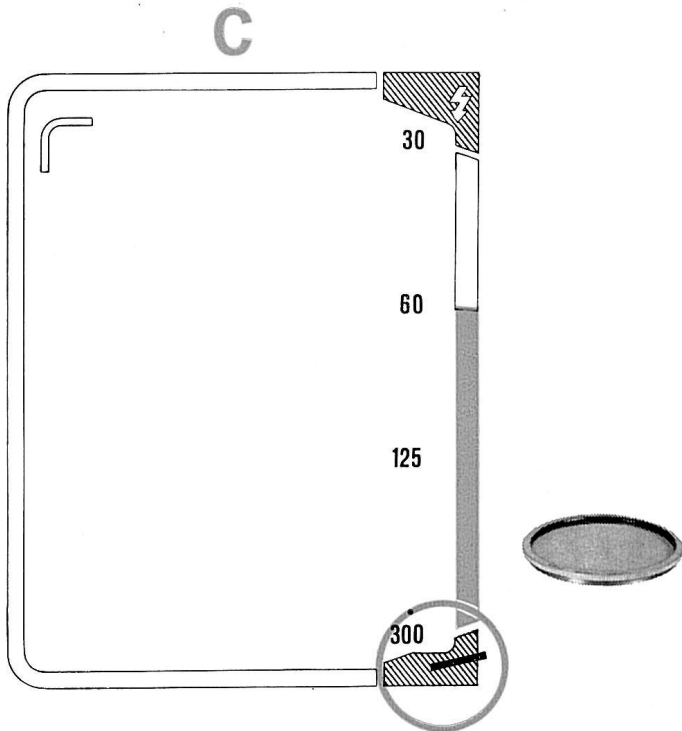
B 指針がフラッシュマーク部にあるとき

↓
被写体が暗すぎるため、EE 撮影できません。
フラッシュ撮影に切りかえてください (19ページ参照)



C 指針が下部の露出オーバーマーク 内にあるとき

↓
被写体の光が強すぎます。フィルターをご利用ください (20ページ参照)

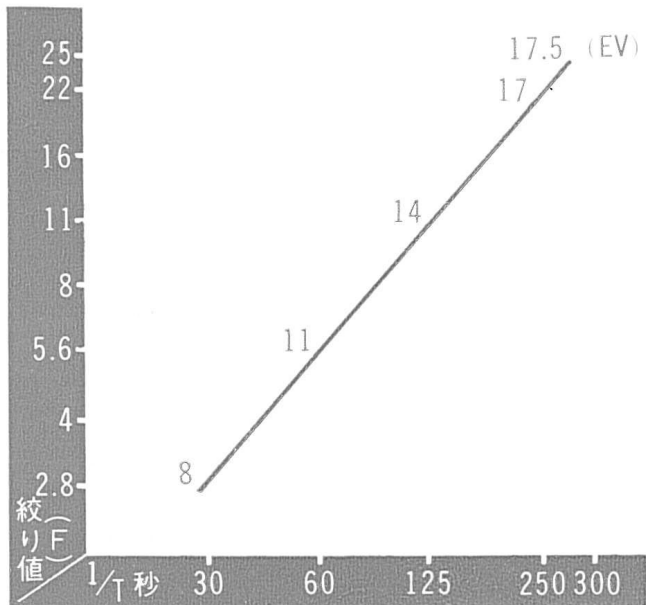




*ファインダー内に示された各シャッター秒時に対応する絞り値はつぎのように連動しています。

(ASA 100 にセットのとき)

*ファインダー内で 300 の上に記された点は 250 (1/250 秒) をあらわしています。



スナップマークの使用法

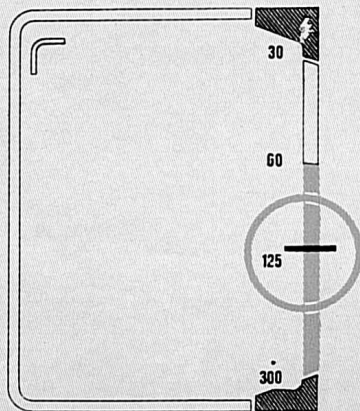
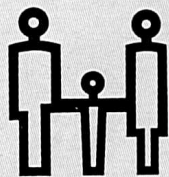
戸外の撮影時には、あらかじめ距離指標をスナップマークに合わせておくと、ごく簡単にスナップ撮影をたのしむことができます。

1. 距離指標をスナップマークに合せます。
2. ファインダー内の指針がスナップゾーンにあれば、どんな被写体にもぴったりのピントで EE 撮影できます。被写体によるピント合せの必要は全くありません。そのままシャッターを切ってください。



戸外のスナップ撮影の明るさなら、ほとんどの場合、指針はスナップゾーンにはいりますから、スナップマークを利用すると便利です。

*もしもスナップゾーンから指針がはずれたとき
(白色ゾーンにはいったら)
ピントを被写体に合うよう合わせなおしてから撮影してください。



構図の決定

ファインダー視野内の白線でかこまれた範囲が写ります。

ただし、近距離撮影(1 m以下) のときは、多少のパララックス(視差)が出ますから、補正マーク内で構図をきめてください。



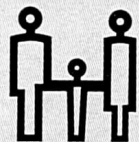
シャッターボタンを押す

構図がきまったら、最高のチャンスをねらってシャッターを切りましょう。

シャッターボタンは、手ぶれのない鮮明な写真を撮るため、静かに押ししてください。



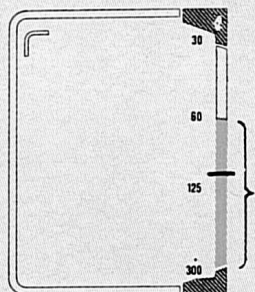
EE 撮影手順 もう一度、デミ EE 28 の EE 撮影手順をおさらいしてみましょう。



スナップマーク
使用時 →

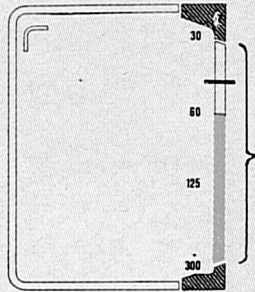


ピント合わせをした場合



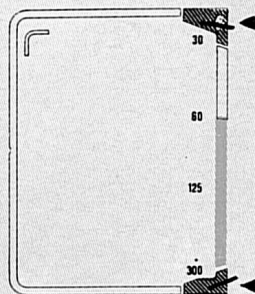
OK!

指針が
この範囲にあるときはピント合わせ
不要 適正露出



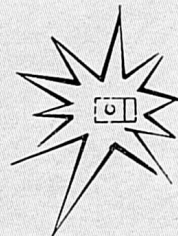
OK!

指針が
この範囲で適正露出



← 露出不足 フラッシュを使用

← 露出過度 フィルターを使用



フィルムの巻戻しと取出し

フィルムはパトローネ（容器）から裸のまま巻取られています。したがって撮影後そのまま裏蓋を開いて取出すことはできません。

かならず次ぎの手順で元のパトローネに巻戻してから取出してください。

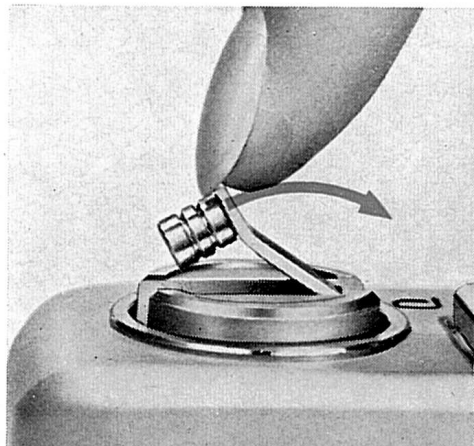
*フィルムが終りになるとレバーがきつくなり、巻上げができなくなりますから、フィルムを巻戻します。

1. 巻戻しクラックを引起します。

2. カメラ底部の巻戻しボタンを押し込んだまま、巻戻しクラックを矢印方向に回します。抵抗が軽くなったら巻戻し操作をやめます。

3. 巻戻しノブを上方へ引っぱって裏蓋を開き、

4. 巻戻された撮影ずみフィルムを取出します。

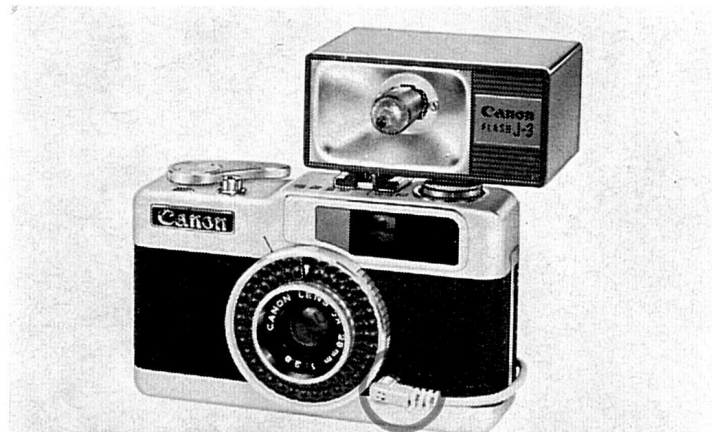


フラッシュ撮影

ファインダー内の指針がフラッシュマーク部にきたときは、被写体が暗すぎてEE撮影できません。フラッシュを用いて撮影してください。

フラッシュ撮影時には、**AUTO** マークをはずし、手動絞りで撮影します。**AUTO** をはずすと、シャッター秒時は自動的に 1/30 秒にセットされます。

*フラッシュはキヤノンのフラッシュ J-3 かフラッシュクイントをおすすめします。スピードライトの使用もできます。



*フラッシュバルブは、M級、F級、MF級などです。

1. フラッシュ撮影の準備

フラッシュユニットをカメラのアクセサリシューに取り付け、コード先端をカメラのシンクロフラッシュソケットにさし込みます。

2. 距離を正確に合せます

撮影距離を求めてピント合せをします。カメラ裏蓋上の距離表をご利用ください。

3. 絞り数値を求めて指標に合わせます

下記の計算によって求めた絞り数値を絞りリングを回して指標に合わせます。

$$\text{絞り値} = \frac{\text{ガイドナンバー}}{\text{撮影距離}}$$

4. ファインダーで視野をたしかめ、シャッターボタンを押します。

※ガイドナンバーはバルブの外箱に表示されています。

※フラッシュ J-3 かフラッシュクイントを用いれば、露出計算盤がついているので便利です。

フィルターの使い方

1. フィルターの効果

フィルターはレンズ前枠にねじ込んで使います。フィルターは黑白フィルム、カラーフィルムに対して、それぞれ特有の効果をあらわします。また露出オーバーの場合はNDフィルターなどで調整することもできます。

2. フィルターの露出調整

フィルターは濃度や種類によって露出倍数があります。フィルターをかけた場合は、その分だけ露出調整をしなければなりません。

3. 露出調整のしかた

使用フィルムの感度を、フィルターの倍数で割って、その数値を、フィルター使用時の感度としてセットしなおします。

$$\frac{\text{フィルム感度}}{\text{フィルター倍数}} = \text{フィルム感度}$$

※たとえば ASA 100 のフィルムに Y3 のフィルターを用いた場合、フィルター 倍数は 2 倍ですから

$$\frac{100}{2} = 50$$

フィルム感度セッティングを回して 50 にセットしなおせばよいわけです。



27 mm フィルター

●黒白フィルム用 350 円

Y1 (1.5倍) } 海辺や山で、人物の肌が黒くなるのを防いだり、青空から白雲を浮き立たせた

Y3 (2倍) } りします。

O1 (3倍) 人物の肌が自然に美しくうつります。

R1 (6倍) 赤色のものが白くうつり、視覚と変わった効果を示します。

G1 (3倍) 緑色を効果的に表現します。

●黒白・カラー用共通 370 円

UV (1倍) レンズ保護と写真の冴えを助ける常用フィルター

ND4 (4倍) } ND4は1/4に、ND8は1/8に光量を減じます。露出オーバーのとき、利用す

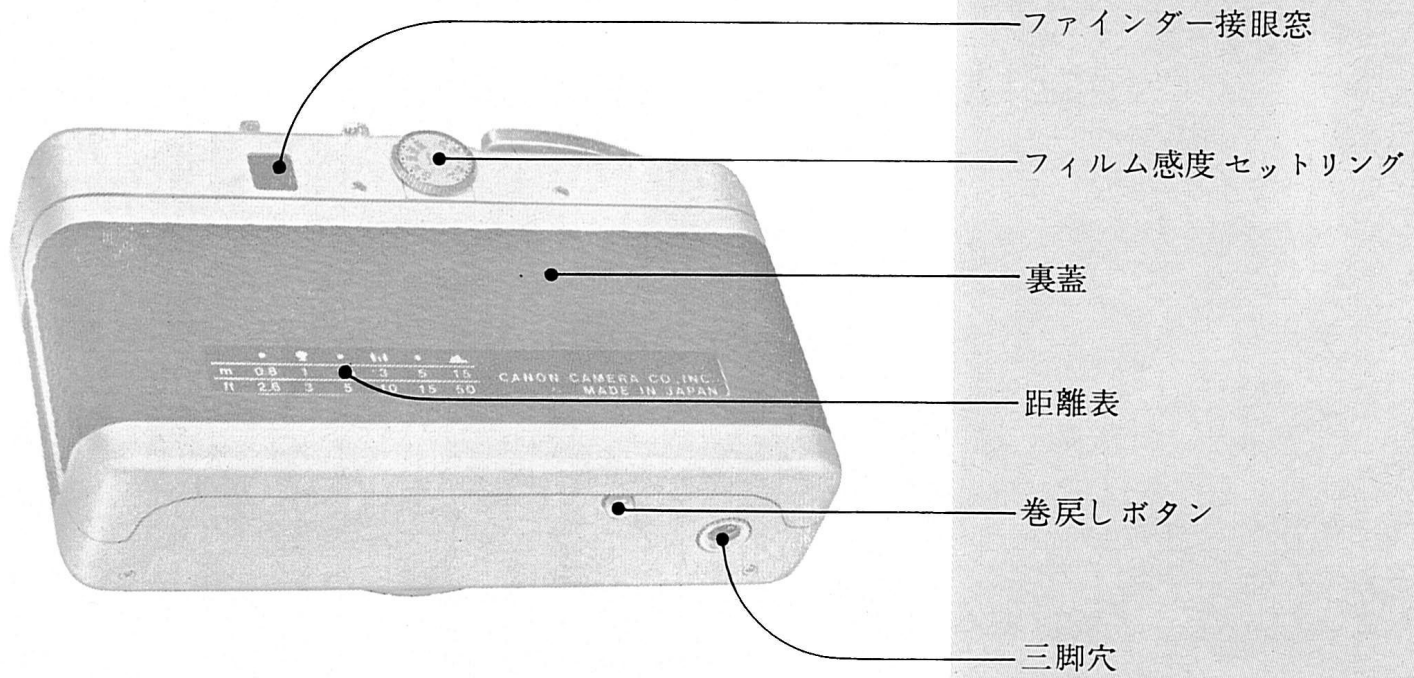
ND8 (8倍) } ると便利です。(20ページ参照)

●カラーフィルム用 370 円

カラーコンバージョン **A** (2倍) } カラーフィルムには電灯光用と太陽光用の2種があります

カラーコンバージョン **B** (3倍) } が、それらを反対の光源で使うときに用います。

スカイライト (1倍) カラー用のレンズ保護と写真の冴えを助けます。



ファインダー接眼窓

フィルム感度セットリング

裏蓋

距離表

巻戻しボタン

三脚穴

キヤノンデミ EE28 のアクセサリー

①フラッシュユニット J-3 1,050 円

ベースレスバルブ専用，AG-PH ソケット内蔵切換え式。

②フラッシュクイント 2,950 円

5 個のフラッシュバルブを連続発光できます。AG タイプ専用。

③スピードライト 100 8,100 円 (ケース・コード) 700 円

小型高性能型，一度充電されたら電圧が低下しないようなトランジスタ回路組込み。

④セルフタイマー 6 540 円

シャッターボタンのリリース穴にとりつけて使います。約 10 秒おくらせてシャッターが作動するので、撮影者も被写体の仲間入りできます。

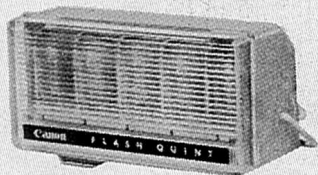
⑤キヤノンリリース 250 円

全金属製

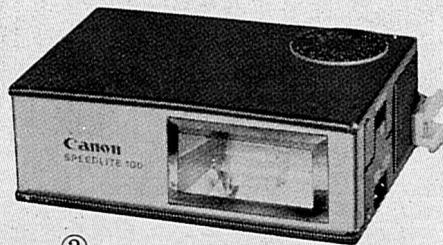
⑥27 mm フィルター各種 (22ページ参照)



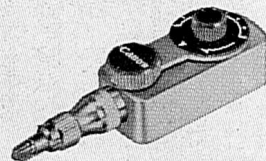
①



②



③



④

⑤



⑥



Canon

キヤノンカメラ株式会社

東京都大田区下丸子3-30-2 ☎(03)738-2111 大代表

営業所・サービスステーション

☎

銀座・東京都中央区銀座5-3(吹原ビル1階) (03)572-4271~3

八重洲・東京都中央区八重洲3-1(大久保ビル2階) (03)271-0391~2

大阪・大阪市北区梅田2(第一生命ビル2階) (06)341-9335

名古屋・名古屋市中村区堀内町4-1(毎日会館2階) (052)581-3811

福岡・福岡市天神1-11-17(福岡ビル9階) (092)74-8431

広島・広島市幟町14-11 (0822)21-4615~6

札幌・札幌市北三条西4-1(第一生命ビル4階) (0122)23-5788

仙台・仙台市東二番丁68(富士ビル8階) (0222)25-0215~7

新潟・新潟市東大通1-23(マルタケビル7階) (0252)44-0758~9

静岡・静岡市御幸町9-2(大吉野ビル2階) (0542)55-2241

